



# 月刊 労働千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番  
(公) 043 (222) 7207 番

97.2.18 No.4549

# 三月ダイヤ改訂 佐倉機関区廃止阻止 2月14日 総決起集会開催!

佐倉機関区廃止阻止、二・一四動労千葉総決起集会は、一八時から、佐倉機関区において、各支部から参加した二〇〇名余の組合員の結集で開会された。とりわけ参加した組合員の四割ぐらいが、かつての佐倉機関区にいた事のある者であり、三月「ダイヤ改訂」で佐倉機関区が廃止される事に強い怒りがあるという雰囲気でした。

司会を本部執行委員でもあり、佐倉機関区の事務掛である清水君が行いました。清水君は、この間の佐倉機関区廃止提案に至る経過を説明すると同時に、「九七春闘である事を含めストライキで粉砕しよう」と呼びかけたのである。

次いで動労千葉本部を代表して、布施副委員長があいさつし、「JR体制の中で一番矛盾の集中した貨物会社、貨物支部で働く組合員の事を考えて、一緒に闘って共に闘おう」と声高かに訴えたのである。

- 基調報告は、田中書記長より、
- (1)「新フレイト二一」貨物基地・佐倉機関区廃止攻撃を粉砕、
  - (2)幕張電車区の構内・仕業融合化攻撃粉砕、
  - (3)三月ダイヤ改訂九七春闘を国労の仲間と連帯し、ストライキで闘う、
  - (4)JR総連解体―組織拡大を実現し、JR体制を打倒しよう、
- を訴えたのである。



来賓あいさつを水野勝浦市議がし、「労働者は闘う中で元気がでる。自分は動労千葉のみならずの元気な顔をみて元気づけられる」とあいさつし、全参加者から喝采をあびたのです。次いで、貨物支部より決意表明がされ、佐倉・宮内支部長、綿貫乗務員会事務長、田中検・修会長、新小岩より君塚支部長、国分乗務員会長より、「旅客との益々の格差の拡大の中で、佐倉拠点の廃止は許されるものではない。今までの怒りをストライキでぶつけよう・・・」等々、力強く



決意が明らかにされたのである。最後に旅客支部より、千葉運転区支部・岩瀬、鴨川支部・照岡、幕張支部・石幡の各支部長より「貨物支部の苦闘を我がものとして共に闘う」と決意表明し、最後に、関青年部長の組合歌合唱、布施副委員長の団結カンパローで大成功のうちに終了した。

決意表明する当該の  
宮内佐倉支部長  
～二百名以上の結集～

写真上

写真下

田中書記長の、  
基調報告を聞く

## 初定期委員会

とき、2月19日  
(水) 13時～

ところ、千葉県物産センター5F

